

硕士学位研究生入学考试辅导材料

日语练习集

石 瑛 编

哈尔滨工业大学教材处

前 言

近四年来，为辅导我校学生准备研究生考试，选编了大量练习，旨在通过较多的语言实践，使学生能够系统地复习并扩充一些语法知识和语言现象，提高语言活用能力。根据几年来试用情况及学生反映，经过反复正理、扩充、编辑出版。

本练习集是用日语写成的。其中主要材料选自日语原文语法书、教科书、语法练习册、试题集等各个方面。通过做这本练习集既可以巩固活用所学的基础语言知识，又可以扩充提高语言水平。同时，这本练习集也可以作为测试、鉴定自己日语水平的标准。本练习集的使用方法，是通过总结、归纳的方法，以期日语水平的进一步提高。

本练习集是参照硕士学位研究生入学考试日语试题的要求，并针对我国学生的特点及学习中存在的困难编写而成的，因此建议读者按着顺序把题目做完，然后查对书后的答案，验证自己做的是否正确。

本书全稿经由黑龙江大学日语系教授刘耀武同志审阅，在此深表谢意。

由于编者水平所限，错误与不妥之处在所难免，恳请读者批评指正。

编 者

一九八四年十月

目 次

助詞の働き	1
助動詞の働き	20
用言の活用	33
総合練習問題	48
文章を読んで問いに答えなさい	78
文章を中国語に訳しなさい	88
研究生日本語試験問題	101
日本大学日本語試験問題	149

解 答 篇

助詞の働き	166
助動詞の働き	177
用言の活用	185
総合練習問題	199
文章を読んで問いに答えなさい	215
文章を中国語に訳しなさい	217
研究生日本語試験問題	226
日本大学日本語試験問題	248

助詞の動き

一、次の文を文節に区切り、付属語に○印を付けよ。

例：山田のことは、よく知っているらしい。

1. 私は心の中でラビに感謝した。
2. あなたといっしょに行きたいですが、連れていってくませんか。
3. 皆いっしょに出かけるのは、意味がない。
4. 老人はきっと、ずいぶん前からこの一切れのパンを保存してきたのだろう。
5. 玄関のベルを鳴らすと、すぐ人が現れた。
6. 月の光が青くさしていて、とてもきれいです。
7. 人がいっぱい駅の前に集まっている。
8. たばこのけむりはすいこまないほうがいいですよ。
9. 私は先生にしゅうしょくの世話をしてもらいました。
10. ガスのない生活の不自由さは東京のような町に住んでいる人にはわからないでしょう。

二、次の文の（ ）のなかに適当なかなを一つずつ入れなさい。

1. いくつ（か）の数の集りに或る数を掛けることを示すには括弧を用いる。
2. 答えはイエス（か）ノー（か）、二つに一つだ。
3. それは社会全体についても、同じように考えられて

よいのではない (1)。

4. 非常に栄養 (2) 悪ければ、牛乳や造血剤などで栄養をよくしてから始めなければならない。

5. 来周の水曜日は都合が悪いです (3)、あとはいつでもいいです。

6. 人間も鳥のように楽にとべたらいいんだ (4)。

7. 南洋在留中国人の陳嘉庚氏以下南洋中国人代表一行は香港 () () 天津经由で四日北京に到着した。

8. 工業学校は軍隊の模型であった。模型は本物に似ているほど優秀なわけだ () ()、本質である力は、あらゆる品性の上位におかれた。

9. 田村氏と行動を共にするものは十名 () () () しかないと思う。

10. この外国人は、これ () () () の本はらくに読める。

11. 戦後いろいろの改革が行われた () () () ()、そのことごとくが必しも立派に運用されているとはいえぬようである。

12. 猫の言葉が人間につうじるといいんだ () ()。

13. 一人の人間がいかに生きたか、またいかに社会に貢献し、あるいは害を及ぼしたか、ということ (5) (6) 大切である。

14. 同じ種類の量は同じ単位で表わす () ()。

15. それが測候所の記録とほとんど一致しているという報告 () () ある。

16. 映画は見ない ()、劇も見ない ()、お酒も飲まない。

し か

17. 六疊ひと間で、机と本箱だけ（ ）（ ）道具はなかった。

18. この練習を半時間ぐらい（ ）（ ）毎日やると、その効果はめきめきあらわれてくるよ。

19. ささやかなる滴（ ）（ ）、流れゆけば海となる。

20. ことに教育部門に関しては、学校（ ）（ ）が教育する場ではないのである。

21. われわれは、實際の社会生活では、何でも好きなことを言っ（ ）（ ）、し（ ）（ ）することは出来ない。

22. これに対して欧米の結果は、常に一定の差を保ち（ ）（ ）、それに平行して並ぶのである。

23. 二人は、首をちぢめ（ ）、外套の襟をたてた。

24. あなたはこれが信ずることができ（ ）。

25. これは関東地方（ ）春の始めによく起るものである。

26. 他の季節には離乳经过の一日（ ）進むところでも、夏は二三日かけるくらいにしましょう。

27. そのような圧制（ ）（ ）、多くの人人にとっては、たがいに闘争しているよりも、むしろ助けになると考えられるであろう。

28. 思想はもともと行動と相互連関をなすものである。

29. この危険感から、ソ連はベルリンの封鎖を解除し、西欧側（ ）の国交調整を希望するに至ったとも見られるのである。

30. 離乳を秋まで延ばしてよい場合（ ）悪い場合（ ）あります。

31. 新橋駅を出る（ ）、彼は直ぐ神田を目ざした。

32. 第二点は間接選挙方法の採用の可否で、これには選挙代理人の選出（ ）（ ）、地方公共団体吏員による選挙（ ）（ ）いろいろあるようだ。

33. 日本はロシアに勝った（ ）（ ）（ ）（ ）、とても日本人の性質ではロシア人を治めることが出来んといつて、あらゆる方面から非戦論を説いたんだ。

34. 言っている言葉の一つ一つに、深い意味がある（ ）（ ）（ ）、その言葉通りの意味すらありはしない。

35. 少女たちが、いくら早くにげた（ ）（ ）（ ）（ ）、馬でかけつける役人たちの手をのがれるべくもない。

36. 出かけようとする（ ）（ ）（ ）（ ）雨が降り出した。

37. お忙しい（ ）（ ）（ ）（ ）おいでくださいまして、ありがとうございます。

38. バッフ回路（ ）（ ）二つの回路の間に互いに影響がないように入れる回路である。

39. また、強ひていそいで言葉で愛情をたしかめなく（ ）（ ）いいと考えていた。

40. 機械が二台（ ）（ ）一緒に動き出した。

41. 「あした行くかい。」「行く（ ）（ ）。」

42. その夜彼は若い弟子の一人の盃をみたしてやり（ ）（ ）小さい声でつぶやくようにいった。

43. 唯物論者であり（ ）（ ）（ ）物事に対しては戦術の観点から常に主観的に偏曲した解釋をする。

44. そうなったとき、世界に平和の實現されるチャンスが多くなるので、私の建築（ ）（ ）もそうした機運のさきがけになれば幸せだと思っています。

45. 雨が降った（ ）（ ）、旅行はやめることにする。

46. 君が来る（ ）（ ）ぼくが行く（ ）（ ）、どちらかになるだろう。

47. 彼はその部屋へ入る（ ）（ ）、どきっとした風に欄間を見上げた。

48. 労働者はあの機械の前（ ）立っているにちがいない。

49. お部屋（ ）はあかあかと燈が輝き始めた。

50. 日本では朝ご飯はご飯（ ）みそしるか、トースト（ ）ミルクぐらいで済ます家が多い。

51. でも、御仲人のあなたが、もっとよく御調べになったら、こんなことは起らなかったでしょう（ ）。

52. 二人とも互いに愛情を感じ合って楽しんでいる所へ、スーザンが来て、姉が自分（ ）恋人を盗んだと憤慨した。

53. 夏は胃腸（ ）弱る時期で、食物（ ）いたみやすい季節です。

54. あの人のかぜをひいた（ ）腹をこわした（ ）言って休むことが多い。

55. おおぜい人がいるけれど、何があったんです（ ）。

56. それゆえにこそ、ふたたび個人の誠實が問題になってきた（ ）にほかならぬ。

57. どうしてこんなところへ私に来ることになった

() だろう。

58. 月がある () ()、雲の流れる速さがよくわかる。

59. その内容が反共的であるという () ()、左翼陣營が問題視し、一部にはこの教科書撤回運動もある。

60. もう夜の二時近い () () 妹がいない。

61. もう夜も 9 時近いという () () 研究室だけは電燈が消えていない。

62. 結婚まえまでそんな失礼なことをいわなかった () ()。

63. 中国人には遺言尊重癖が比較的少いことを見ると、この日本人の性向は儒教 () () を以てしては説明しえない。

64. が、それなくして個人は生きられぬ () () ならず、社会もまた、それなくして存在しえぬであろう。

65. 帝国主義者、封建主義者、官僚資産階級、国民党反動派を除くすべての人物 () 我々の友人である。

66. 政治批評にせよ、藝術批評にせよ、もともと批評と () 極北の精神にはほかならない。

67. 政策の問題であるとするなら ()、それは、その目標を、どこに、どう置くかによって決定される問題である。

68. つくづくと眺めれ () 眺めるほど、おじょうさまはうつくしく、けだかく、しとやかなのです。

69. それ () () () のことで、騒ぎ出すなんてとてもつまらない。

70. まだ日本へ来た () () () で、日本語がよくわからない。

71. すっかり準備がおわって、旅行に出かける（ ）
（ ）（ ）になっている。

72. 彼は英語（ ）（ ）（ ）か、フランス語もロシア語もできます。

73. その発想者は、死によって行動化（ ）の責任から完全に免れている。

74. ここにいられる男の方方に日本女性（ ）の希望を聞く。

75. 大学（ ）進学することは決して不可能ではない。

76. その折山に布の厚さの二倍（ ）（ ）の深さにミシンをかけます。

77. おくゆかしい薫りが、甘い体臭ととけあって、腦しい（ ）（ ）に、徒女の鼻をうつのでした。

78. そのボールはにぎりこぶし（ ）（ ）の大きさしかない。

79. 溝の口から浅草（ ）（ ）一時間のドライブは、正広君にとって生れて始めての楽しい経験だろう。

80. そしてこの苦しみの間に我我兄弟は死ぬ（ ）（ ）仲よくしようと何度兄弟愛を誓ったか解らん。

81. 自己の性能を極限に（ ）（ ）展開しえたという手ごたへそのもののうちにある。

82. 空電源Dから出る電波をA B Cの8点で同時に測定すればA B Cの関係からD（ ）（ ）の距離がわかる。

83. こんなに寒いのに、炭（ ）まき（ ）買えないんじゃない、やりきれないな。

84. 民主主義という言葉ならばだれ（ ）が知っている。

85. この調子で降り続けば、今夜の雪は、少く（ ）十センチは積もるだろう。

86. あんまりいいお天気な（ ）（ ）（ ）、つい浮かれちゃって。

87. うちの子供が外へ出て、下の階級の言葉を覚えて来よう（ ）（ ）（ ）（ ）、お母さんが喧しく訂正している。

88. やっと立ちあがりはした（ ）（ ）（ ）、その男はまだまっ青な顔色をして、息をきらし、足をぶるぶるふるわせている。

89. ちょっと気をつければいい（ ）（ ）（ ）、不注意だから事故をおこすのだ。

90. われわれは文部省（~~フ~~）^フ 著作者の肩を持つつもりはない。

91. そして、一同の気がそろったとみる（~~フ~~）^フ、さっと指揮棒をふりおろした。

92. 人人は効果のために、いま（~~フ~~）^フそれを抛棄してもかまはぬと考へているのであろう。

93. お姫さまは、おどろき（~~フ~~）（~~フ~~）、うれしさ（~~フ~~）（~~フ~~）、はずかしさで、夢心地でした。

94. 手をふり顔をゆがめてなにか叫んでいるがなんのこと（~~フ~~）（~~フ~~）分うない。

95. 所要時間は二十二時間五分で戦前の（~~フ~~）（~~フ~~）約十時間遅かった。

96. しかし、ぼく（~~フ~~）（~~フ~~）、君のほうが、いくらか、寛大らしいな。

97. 東京では仕事が見つからないから、当分こちらで暮

らす(×)(○)仕方がないのです。

98. おじょうさまは、ふと顔(×)あげて、ちっと数繪(×)みつめました。

99. さて、そのせまくなった町(×)、半町ぐらい行くと、左がはの、バラックだての、長屋の賣店が、とぎれる。

100. 昭和九年の十月二十九日の、午前八時三十分ごろに、新宿(×)出る汽車、由比は、乗った。

三、次の一のある言葉が、始めの文の____のある言葉と同じ意味のばあいには○、ちがう意味のばあいには×を()の中に書きなさい。

1. お茶でも飲みましょうか。

(×) お金でも買えいものがこの世にあります。

(×) その話は本でも読みました。

(×) 広告でも出してみたらどうですか。

(×) ふろでもはいて早く休みなさい。

(×) 日曜日にデパートでも買ってきましょう。

2. このおかしはわたしが買ってきたものです。

(✓) 食べられるものはなんでも食べた。

(×) もうすんだものとばかり思っていました。

(×) 子どものころはよく自轉車に乗って遊んだものです。

(×) かりた本は読んだらすぐに返すものです。

(×) こうしてみるとまんざら捨てたものでもない。

3. いま持っているのでまにあわせよう。

(✓) いくら高くても大きいので五十圓、小さければ三十圓ぐらいです。

(~~✓~~) ふつうは三十圓ぐらいですが、これは大きいので五十圓します。

(~~✓~~) 大きいのが五十圓だと聞いたので小さいのを買いました。

(✓) 辞書は去年使ったのでは役に立ちませんか。

(~~✓~~) 辞書は去年買ったのでもう今年は買いません。

4. そそこはいったいどんなところですか。

(✓) 彼の家は郊外のとてもわかりにくいところにあります。

(~~✓~~) 今日はお忙しいところをありがとうございます。

(~~✓~~) 出かけようとしたところへ客が来ました。

(✓) ここは東京でも特に古本屋の多いところです。

(~~✓~~) 危いところを助けていただきました。

5. 田中さんは先輩にあたる。

(✓) 一ポンドは四五三グラムにあたる。

(~~✓~~) 投げたボールがガラスにあたる。

(~~✓~~) 犬の前足は人間の手にあたる。

(✓) このりんごは一個九十圓にあたる。

(~~✓~~) 昼休みは外に出て日にあたる。

6. きょうから仕事にかかりました。

(~~✓~~) 病気で医者にかかりました。

(~~✓~~) 仕事は三日かかりました。

(✓) すぐ勉強にかかりました。

(~~✓~~) 雲が山にかかりました。

(✓) 夕食を作りにかかりました。

7. 材料が高くつくので、實用になりません。

- (○) 交通費が高くつくことも問題だと思います。
- (×) サービス料がつくと高くなりますよ。
- (×) 本の代金は一週間以内につく予定です。
- (○) 一つ百圓につくので、そんなに高くはありません。

(×) 下宿代には食事もつくので、高くはないですよ。

8. 旅行について相談する。

- (×) 専門の先生について研究の指導を受ける。
- (○) 日本の歴史について研究を進める。
- (○) そのことについてはまだ何も聞いていない。
- (×) 高校を出たらすぐ仕事について、大学へは行かない。
- (×) 強い者について弱い者をいじめる。

9. 歩きながら話しましょうか。

- (×) 残念ながら失敗しました。
- (×) テレビを見ながらご飯を食べました。
- (×) 約束しながら忘れていました。
- (×) 知っていながら答えてくれませんでした。
- (○) ほかのことを考えながら勉強していました。

10. わたしが休んだわけはあとで話します。

- (×) あなたは、それでおこっているわけですね。
- (○) そのわけをみんなに話してください。
- (○) あの人が、今、旅行しているわけを知っていますか。

(○) では、きのう、あの人は学校へ来なかったわけですか。

- (×) 山田さんが泣いたのにはわけがあります。

四、次の文中の接続助詞に一線を付けて示し、上の部分と下の部分をどのような関係でつないでいるか、例にならって答えよ。

例。風が吹くと、波が立つ。 (順接)

1. これは人間にとって小さな一歩だが、人類の巨大な飛躍である。

2. 卵を入れてやりながら、ふと迷いを感じた。

3. 何も知らないのに文句を言うな。

4. 見たり聞いたりすることすべてが珍しかった。

5. かなり疲れを感じたけれど、しゃにむに仕事を済ませた。

6. 家もあれば、はたけもある。

7. 雨が降ると、道が悪くなる。

8. 雨が降ったので、中止した。

9. 君がそう言っても、ぼくは賛成できない。

10. 春とはいうものの、風はまだ冷たい。

11. 雨も降るし、風も吹く。

12. 行くなり来るなり、どちらに決めなさい。

13. 急用ができて、旅行を取りやめた。

14. いかに困るとも仕事をよくするためにがんばるべきだ。

15. 測量には誤差があるから、みつもりも変ってくる。

16. やれないとは知りつつ、やってみた。

17. 雨が降ったなら、旅行はやめることにする。

18. 彼はテニスが出来ないばかりか、卓球もできない。

19. わたしにだまってかってなことをしようものなら、決してゆるしません。

20. 旅行中汽車はこむし、雨にはふられるし、楽しいどころか、苦しいだけだった。

五、次の（ ）の部分によく当てはまる助詞を、〔 〕の中から一つずつ選んで書き入れよ。

1. 私はその理由は誤っていると思った（ ）、断固として彼の主張に反対した。

〔から、けれど、のに、し〕

2. 一日一日と作業の進行は遅れるばかりだ（ ）、その上、全員の疲労も重なってきた。

〔が、し、ので、のに〕

3. 森には水を調節する動きがあった（ ）、開発とともにそれが失われてしまった。

〔し、ので、のに、と〕

4. 現代の人間は、目先の利益にとらわれ（ ）、川本来の性質を無視しているようだ。

〔たり、ながら、ても、て〕

5. 目は見開かれてはいる（ ）；何も見えてはいないのだ。

〔ものの、から、て、なり〕

6. そののち実験の分野においても、中間子の研究が世界の主流となり、いろいろ重要な結果があいついで報告された（ ）、そのうちに再び理論と実験の間に大きな矛盾が芽えてきたのである。

〔たって、が、ては、ても〕

7. 山に近い（ ）、書間はひどく暑い、夜は温度がさがる土地だが、それでもむし暑さが残った。

〔ば、つつ、ので、とも〕

8. 国民社会全体が絶えず教育問題に関心を持たなければ
()、到底新しい教育制度を充實発展させてゆくとはできない。

〔と、て、し、ば〕

9. 山田が知った風な口をきいた()、可愛い
ということはそれだけのことだった。

〔ところで、けれども、ところへ、ところを〕

10. 参議院で否決され()衆議院で三分の二の再可
決で押切る覚悟でやらねばならない。

〔から、ても、たり、ては〕

六、次の()の中に単語を書き入れて、整った文にせよ。

1. 雨(の)中(に)馬(が)立っ(て)いる。

2. 馬(が)草(を)食べ(て)いる。

3. あなた(は)どこ(から)来ましたか。

4. 彼ら(は)遠ざかるの(を)待っ(て)、同じ方向
(へ)わたし(は)歩み始めた。

5. もし、あのパン(は)なかっ(た)、とうていこ
こ(へ)たどり着けなかったのだ。

6. ことに教育部門(に)関しては、学校だけ(は)教
育する場ではないのである。

7. しかしわれわれは、殺人や放火()許されないこ
と()もって、これ()自由()制限であり、束縛で
ある()呼ばなければならないであろうか。

8. 東京()行ってお父さん()一諸に生治するの
()楽しみに帰って来たのに当てが外れたって泣くのよ。

9. このときは夏の間だけは牛乳、山羊乳など()補